



大橋保育園
令和2年度 7月号

新型コロナウイルス感染症による登園自粛があけて1ヶ月がたちました。いままで慣れていた子どもたちも新園児も不安を抱えながらのスタートとなりましたが、最近では「せんせい、おはよう！」という元気な挨拶がきこえるようになり、子供たちの笑顔もみられるようになると、感染症対策をしながらの新しい保育園生活にも少しずつ慣れてきたように感じています。

梅雨の時期になり、大雨や水害に対してもご心配をおかけしていることだと思いますが、災害対策に関しましても子どもたちや保護者の方々の安全のため、万全を期して対応していきたいと考えております。また、子どもたちにはこの時期だからこそ体験できる行事や水あそび・どろんこあそびなどを通して、たくさんのことを伝えていながら、毎日を楽しく過ごしていきたいと考えております。

田植え

地域の農協青年部の方のご協力で、保育園の近くの田んぼで田植をさせていただきます。

田んぼや畑に囲まれた保育園ですので、毎日、稲の成長をみながら、秋の稲刈りも楽しみに取り組んでいきたいと思ひます。

七夕まつり



子どもたちや保護者の方の願いのこもった短冊が集まっています。

各クラスでは七夕飾りもつくり、当日は笹に飾って各クラスで七夕のおはなしを聞いたり、歌を歌ったりします。



- 1日(水) 田植え(きく)
- 3日(金) リズムの会
- 7日(火) 七夕まつり
- 8日(水) お弁当の日
- 9日(木) 避難訓練
- 14日(火) 元気クラブ(きく・ゆり)
- 17日(金) 身体測定
- 21日(火) 元気クラブ(きく・ゆり)
- 22日(水) 誕生会
- 28日(火) おはなしの会(きく・ゆり・ばら)

リズムの会

今月より「リズムの会」を再開いたします。元公立保育園園長の河野里子先生に来ていただきます。

以前は全園児で行っていましたが、新型コロナウイルス対策として、年齢別に3つのグループに分けた小集団にて行います。

子どもたちの発達のためにも、楽しく体を動かして取り組んでいきたいと思ひます。

おはなしの会



くまちゃん先生こと、松隈美代子先生にきていただいて、きく・ゆり・ばらを対象に絵本をよんでもらったり、素話をしてもらったりします。

十分な間隔をあけておはなしが聞けるように環境も整えて行っています。



個人情報のため、表示していません

◆ 夏に流行る病気について ◆

これからの季節、小さい子はとくに熱を出したり、体調を崩したりする子が増えてきます。気になる症状がみられたらすぐに病院への受診をお願いします。

- 手足口病
手のひらや足の裏、口の中に小さな発しんや水疱ができ、熱がでることもあります。
- プール熱
高熱とどの痛みの他、目の痛み・かゆみなど、結膜炎のような症状がでます。
- ヘルパンギーナ
高熱が1～3日つづき、のどが赤く腫れて小さな水疱がたくさんできます。水疱はやがて潰れて黄色い潰瘍になります。のどの痛みが強いため、食事や飲み物を受け付けなくなることから脱水症状になることもあります。

うがい、手洗いをしっかり行い、部屋の湿度・温度に気をつけるなど、夏かぜの予防に心がけましょう。寝るときはクーラーのタイマーを利用するなどして、体が冷えすぎないようにしましょう。



☆災害時の緊急連絡について
先日より園や久留米市からのお便りで通知しておりますが、これからの季節、大雨や台風などによる緊急連絡(休園や送迎のお願いなど)を一斉メールにて行います。ご迷惑をおかけしますが、登園前などには、メールの確認をお願いいたします。